

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)北部学校給食センター整備・運営事業	階数	地上2F
建設地	相模原市緑区大島1121番302外8筆	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	90 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,500 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	
竣工年	2026年9月 予定	評価の実施日	2025年6月18日
敷地面積	9,815 m ²	作成者	株式会社楠山設計
建築面積	3,798 m ²	確認日	2025年6月19日
延床面積	4,371 m ²	確認者	株式会社楠山設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.9

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 3.1

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.8

3 設計上の配慮事項		
総合	JR相模線橋本駅からバスで14分、九沢自治会館前(バス停)から徒歩で10分の市街化調整区域に、学校給食センター(用途:工場)をS造・2階にて計画した。	
Q1 室内環境	敷地内を全面禁煙とした。	その他
Q2 サービス性能	リフレッシュスペースに特に配慮した。	0
Q3 室外環境(敷地内)		0
LR1 エネルギー	BPI=0.54、BEI*=0.49	LR2 資源・マテリアル
		躯体と仕上げ材が容易に分別可能。
		LR3 敷地外環境
		大気汚染防止、交通負荷抑制、廃棄物処理、光害の抑制に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される